

2月県議会の報告です。

和田あき子県議が行った一般質問と答弁の要旨を紹介します。



いじめ防止条例に反対・・・①教育環境の整備こそ必要

国が2013年6月に制定した「いじめ防止対策推進法」は、「教育再生実行会議」の第一次提言を具体化したものですが、長野県はこの推進法にのっとり、この議会に「いじめ防止対策推進条例案」を提出しました。国の「推進法」は道徳心や家庭教育にまで踏み込み、いじめ加害者へは「懲戒」を行うなど厳罰化での対処や、教職員の管理強化が危惧されるなど様々な問題があり、反対の声を押し切りわずかな審議時間で可決された法律です。和田議員は、県の条例はそれを引き写した内容であると指摘しました。

和田議員は、少人数学級がいじめ防止に効果があるとの文科省資料を紹介して、90%以上の子どもが35人以下の学級に在籍する長野県は、そうでない県に比べて明らかにいじめ認知件数が少ないとして、今後も少人数学級を進め、きめ細かに子ども達を支援する教育環境を整えるよう求めました。また、県の「子ども支援条例」の相談・救済機関を当事者や県民の声を聞いて充実させていくことで対応できるとして、条例の制定に反対をしました。

・・・②知事の関与強化ではなく、教育の自主性尊重を

条例案では、必要と認める場合は、知事がいじめに関する再調査・再発防止の協議を行うとしているが、知事の学校現場への権限強化につながるものであり、教育の独立、自主性を尊重するべきではないかと提起。教育長は「教育委員会または教育の実践を侵すものではない」と答弁しました。

信州ACEプロジェクト・・・地産地消で推進を

信州ACEプロジェクト（生活習慣の改善により健康長寿県をめざす）について、米飯給食を増やすことや給食への地元食材の使用率を上げるなど、県の財政負担も含めて市町村の食育を支援するよう提案しました。

交通渋滞対策・・・通行料金の軽減を要望

長野市内の通勤時間帯の渋滞は深刻であり、その解消策として、①五輪大橋の通行料金無料時間帯の延長、②白馬長野有料道路日高トンネルの社会実験の通行料金を100円にと提案しましたが、建設部長は「無料化の時間延長は困難」と答弁。

今年度から始まった、日常的に通行する方を対象にした割引制度については、市町村実施をさらに広めるよう取り組むとしました。

質問を終えて…和田

いじめで苦しむのはいじめられる側だけではなく、いじめる側やまわりの子どもたちにも深い傷を残すこととなります。「条例ありき」で、いじめをしてはいけないと禁止するのではなく、子どもたちを中心に学校・保護者・地域の子どもの力をつけていくことが大事です。